

校長だより(令和3年5月)

群馬県立藤岡特別支援学校長 須川 史子

薫風かおる5月、たくさんの花々と新緑でまぶしい季節となりました。早いもので新年度を迎えてから1か月が経ちました。新たに4月から本校に通学することになった皆さんも、少しずつ新たな環境に慣れ、明るく元気な笑顔で毎日の学校生活を送ってくれているようです。とはいえ、今までとは違う生活を送るということは、とても不安であったでしょうし、緊張しながら過ごしたことでしょう。環境が変わることで溜まったストレスを、連休を利用してリフレッシュしてほしいと思っています。



4月を振り返ってみたいと思います。

中旬～下旬にかけて各学部では新入生歓迎会が催されました。上級生が趣向を凝らし、新入生のために様々なプログラムを用意し楽しませてくれました。小学部では密を避けるため、1年1組の教室にて上級生(グループごと)の訪問を受ける形で実施し、1年生は「おめでとうカード(メダル)」をうれしそうに受け取っていました。また、中学部では、自己紹介を堂々としており感心させられました。高等部では迫力ある「藤特ソーラン」が披露され、大きな感動を与えてくれました。子どもたちのまた一歩成長した姿を見ることができるのは本当にうれしいことです。

また、下旬に実施した個別面談では、お忙しい中お時間をさいいただき、有り難うございました。年度当初は児童・生徒の指導計画を立てる大切な時期です。担任と保護者の皆様が情報や意見を交換し、共通理解していくことが、学校と家庭の連携の第一歩となります。その共通理解をもとに個別の指導計画が作成され、より適確で効果的な指導・支援が進められます。今後もお気づきの点、ご心配な点等ございましたらお気軽にご連絡をいただければと思います。

さて、ゴールデンウィークが終わると校外学習や様々な実習等が入ってくるようになります。高等部では陸上記録会に向けた練習も本格化します。それぞれの目標に向かって児童・生徒一人ひとりが元気に活動に参加できるよう、ご家庭におかれましてもお子様を励ましていただくとともに、生活のリズムを整えることにご配慮いただければと思います。今後ともご協力をお願いいたします。

また、5月13日(木)には、授業参観・PTA集会等が設定されています。新型コロナウイルス感染防止対応として3会場に分かれてオンラインでの開催となりますが、多くの保護者の方にご来校いただき、お子様の様子、学校の様子をご覧いただければと思います。

体育館の建設がいよいよスタートします。先日は、敷地内試験土の採取の時間が登校時間にかぶる可能性があったため、お知らせを配布させていただきました。今後も重機の搬入や車の往来等でご迷惑とご心配をおかけします。子どもたちの安全・安心を最優先とし、よりよい環境づくりに努めてまいりますのでご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。